



上智大学短期大学部

SOPHIA UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE DIVISION

平成30年(2018年)12月10日

通信 第94号

編集・発行 上智大学短期大学部

第41回 ソフィア・ジュニア祭開催

2018年10月27日(土)に第41回ソフィア・ジュニア祭(SJ祭)が開催された。地域の方、卒業生など多くの方に来場いただき、盛況な大学祭となった。

SJ祭実行委員長の金浜望海さん、学生生活専門委員で今回のSJ祭実行委員会アドバイザーの飯田純也准教授から寄稿いただいた。

SJ祭を終えて

SJ祭実行委員長 金浜 望海

第41回SJ祭は「Peace Begins with a Smile～そこのあなたも笑いな祭」をテーマに開催されました。近年の国内における度重なる災害からの復興を願い、メインタイトルはマザー＝テレサの言葉を引用して平和を表現し、サブタイトルを陽気なものにすることで女子短大らしい明るい雰囲気が伝わるよう、このテーマを掲げました。

当日は早朝まで雨が降っていましたが、開会式には天気が回復し、全ステージ企画を予定通り野外で開催することが出来ました。ダンスサークルによるパフォーマンスや、ビンゴ大会など様々な企画が実施され、また、高橋昌和秦野市長からもご挨拶をいただきました。多くのご来場者楽しんでいただくことができ、また、学生にもたくさん笑顔が見られた今年度の

SJ祭は、大盛況のうちに終えることが出来ました。これも各ゼミやサークルからの参加学生、ご来場者の方々の多くのご支援とご協力があったからこそだと思っております。

また、今年の春からSJ祭のために準備に励んだ実行委員の皆さん、ご尽力くださった多くの先生方や事務センターの職員の方には感謝してもしきれません。本当に有難うございました。来年度も大きな盛り上がりを見せることを願っています。



SJ祭について

SJ祭実行委員会アドバイザー 飯田 純也

SJ祭の特別講演の講師は上智大学法学部の川瀬剛志教授。先生は慶應義塾大学の出身。慶應の三田祭には4日間で約20万人の来場がある。先生の目には上智大学のソフィア祭さえこ

ぢんまりして見えるという。川瀬先生は国際経済法(貿易等に関する国際法)の専門家。講演は「トランプ政権とグローバル経済ルールの地殻変動」という題で、国際経済システム構築に向け世界(WTO)と地域(TPP等)の動向、トランプ政権登場の背景、国際経済ルールは実は国民の富の再配分に冷淡、米中貿易戦争で法の支配から力の支配へ逆転する世界の予感という内容であった。聴講者が活発に質疑を行ったが、講演終了後質問を続ける2年生がいた。翌日、先生からこの学生に参考文献の書名を伝えてくださいという連絡を頂いた。学生にこのことを伝えると感動していた。学園祭が小規模だからこそこの出来事であるのかもしれない。

学園祭は学生の日頃の学修成果を発表する場である。毎年春学期、全学生と学外の見学希望者が各英語必修クラスの準備する英語発表を見てまわる発表会がEnglish Festaである。今回の学園祭では特に高評価の発表を1年の3クラスの有志が再現した。いずれもチームワーク抜群の発表であった。

本学のゼミでは2年前からゼミ論文の提出が単位取得の条件になった。2018年度学園祭では、言語学の近藤先生、歴史学の森下先生、英米文学の平野先生の各ゼミ生数名が日頃の研究成果の概要を発表した。発表の場では他ゼミの先生を交え建設的な意見交換が行われた。

「大学の世界展開力強化事業～南米等の大学間交流形成支援プロジェクト」進捗状況

本学は、上智大学・南山大学とともに2015年に文部科学省「大学の世界展開力強化事業(中南米)」に採択され、ブラジル、メキシコ、ペルー、チリ、コロンビア、アルゼンチンの6か国13大学と連携する留学プログラム「LAP(Sophia-Nanzan Latin America Program)」を開始し、4年目を迎えた。

本学は当プログラムの一つである実践型の短期留学プログラム「ペルースタディツアー」に学生を派遣している。ペルースタディツアーは事前講義と研修、約2週間のペルー滞在で構成されている。ペルーカトリック大学でペルーや中南米の社会、文化について英語による研修を受けるとともに、現地日系人コミュニティとの交流を図ることで多様な視野の獲得と異文化への理解を深めている。

2015年度3名、2016年度4名、2017年度4名の学生たちがこのプログラムに参加している。

一方、2017、2018年度にはLAPにより上智大学に留学している南米からの留学生が、本学のサービスマーケティング活動の一つで、外国にルーツをもつ児童・生徒やその家族対象の日本語・教科学習支援活動である「コミュニティフレンド」に参加している。

2018年度はメキシコ、ブラジル、コロンビアからの留学生3名がポルトガル語やスペイン語で日本語学習に来ている南米にルーツを持つ子どもたちと交流し、楽しい時間を過ごした。普段は子どもたちの学習のサポート役である学生たちも英語を駆使して留学生とコミュニケーションを図ることにより、これまで知らなかった新たな世界を発見することができたようである。また、覚えたばかりの日本語で一所懸命に自己紹介をする留学生たちの姿に、大きな刺激を受けた様子であった。また、留学生も秦野市という一地方都市で起きているグローバ

ル化を目の当たりにすることとなり、現代日本の側面を垣間見ることができたようである。

本学は正課カリキュラムの充実を図りながら、今後もこのような実践型のプログラムに参加する機会を学生に提供し、学生が言語及び文化における多様性を理解し、背景の異なる他者との対話と協働を通して、問題を見つけそれを解決する力を養うことを目指していきたい。



FACULTY VOICE

サバティカル(研究休暇)を終えて

教授 近藤 佐智子

2017年9月末から2ヶ月間米国カリフォルニア州スタンフォード大学とサンノゼ州立大学で、2018年1月から2ヶ月間ハワイ大学で、留学環境における第2言語学習者のインターアクション能力(interactional competence)に関する研究のための資料収集、研究者との意見交換、授業見学などを行った。

■スタンフォード大学

大学院留学生を対象とする英語の授業を視察し、担当教員と個別に相談をすることによって、言語教育についての最先端の知識を得ることができた。

当大学院生は入学に最低TOEFL Internet Based 100, Paper-Based 600点以上をクリアしなければならず高い英語能力を既に持っているが、4スキルのうちreading以外の科目を必要に応じて履修している。その中の「Interacting in English」、「Writing Academic English」および「Listening Comprehension」の授業を見学させていただいた。



スタンフォード大学のシンボル・メモリアルチャーチ

「Interacting in English」では、誉め、招待、不満表明など言語の機能について教えており、語用論的知識に関する私のこれまでの研究と重なるため、お互いの教育方法や教材について担当教員と意見を交換した。「Writing Academic English」では、論文の展開方法、要約をするための言い換え(paraphrasing)について扱っていた。担当教員からはトピックセンテンスをパラグラフの最後に書いてしまうというアジア系学生の文体の問題点などについてお話を伺った。リスニングではTED-Edを利用した学生の自律学習プロジェクトを行っていた。

授業見学を通して分かったことは、徹底した少人数クラス(8名~15名)、学生主体でインターアクティブな授業(プロジェクト型、学生の発言重視)、視覚的メディア(ビデオ、イラスト、写真)を多用、学習者用に作られたものではないリソース(YouTube、映画やTVドラマ、論文)を使用していることで、これらを学生に分析させ、クリティカルな思考の力を伸ばす授業をしていた。短期大学の学生に対しても応用できる要素が多く含まれていると感じた。

また、当大学医学部が一般向けに開講している「Compassion Cultivation Training Program」(土曜全8回)に参加し、瞑想(meditation)に関する理論と実践の知識を得た。この大学では全学で学生や教職員の健康向上のために瞑想を推奨しており、教育に幅広く取り入れられている。昨今、世界の教育界でもマインドフルネスや瞑想についての研究が注目を集めているところであり、今後の教育活動に生かすことができる可能性を感じた。

■サンノゼ州立大学

留学環境にある第2言語学習者のインターアクション能力の発達について会話分析を使用して研究している石田みどり先生と研究相談を行った。最新の第2言語習得研究では、言語能力を個人の認知的能力(cognition)として見るのではなく、会話の相手といかに共同で社会行為を成し遂げていくかという能力を見るという考え方が大きく進んでいる。



サンノゼ州立大学キャンパス

また、石田先生担当科目の日本文化のゼミと基礎日本語を視察した。ゼミでは日本語と英語のポライトネスの比較、若者や女性のことばなどを扱っており、私の短大でのゼミと共通点が多く、大変参考になった。

両大学はApple、Google、Facebookなど大手IT企業の本社が位置するシリコンバレーの拠点地にあり、地域の劇的発展の勢いと学生の意欲の高さを肌で感じることができた。

■ハワイ大学

Department of Second Language Studiesの教授であるGabriele Kasper先生の大学院での授業「Qualitative Research」に参加し、第2言語研究におけるエスノグラフィーと会話分析という質的研究の方法を学ぶことができた。Kasper先生からは前回のサバティカルで6ヶ月ハワイ大学に滞在した際に研究のアドバイスをいただき、2010年に上智大学に博士論文を提出した際には、審査員の一人として関わってくださった経緯があり、今回も貴重なアドバイスをいただくことができた。



ハワイ大学キャンパス

会話分析のデータセッションにも参加した。会話分析は、社会学、心理学、文化人類学、言語学など様々な分野で採用されている手法であり、このセッションでは異なる分野の研究者が集まり、録画された会話のデータを使用し分析した。発話される全てのことばと、一見意味のないような音やノンバーバルな側面にも社会行為としての意味があることについて有意義な意見交換ができた。

■おわりに

今回カリフォルニアとハワイの2か所で在外研究をさせていただき、研究だけでなく今後の教育において生かすことのできる多くの貴重な体験をすることができた。特に、滞在中に出会った様々な背景を持つ研究者、学生、地域の人々の、一人ひとりと対話することによって、教育の課題や社会の問題などについて、深く考える機会を得たことは、何物にも代えがたい経験であった。このような機会を可能にくださったことに心より感謝申し上げます。

2019年度学費決定について

2019年度の学費が決定しました。以下のとおり改定します。

2019年度上智大学短期大学部学生納付金

単位：円

費目	新入生	在学学生	摘要
入学金	260,000	-	入学時のみ
在籍料	60,000	60,000	年額
授業料	682,000	682,000	年額
教育充実費	199,800	180,000	年額
小計	1,201,800	922,000	
同窓会積立金	-	20,000	2年次徴収
英語力テスト受験料	9,225	3,075	1年次：年3回 2年次：年1回
学生教育研究災害傷害保険料	1,400	-	保険期間2年(※)
小計	10,625	23,075	
合計	1,212,425	945,075	

(※) 学生教育研究災害傷害保険料については、当初納入した金額に対する保険期間を過ぎて在学する場合、1年毎に徴収する。保険期間1年間800円。

2017年度グッドティーチング賞授与

教育実践に顕著な成果をあげた教員に贈られるグッドティーチング賞の2017年度受賞者が杉村美佳准教授ならびに木戸直美講師に決まり、授賞式が2018年9月28日(金)に行われた。杉村准教授から以下のコメントをいただいた。

グッドティーチング賞受賞にあたって

准教授 杉村 美佳

このたびは、グッドティーチング賞をいただき、教職員の皆様、学生の皆さんに心より感謝申し上げます。今回の受賞は、ひとえに秦野市や国際学院高等学校、開発教育協会*の諸先生方にご協力いただいたお陰と考えております。私の「初等教育」の授業では、秦野市教育委員会の先生による講義や、秦野市の小学校の授業見学を通して、学生が教育実践について理解を深めた上で、授業の指導案を作成するという手法をとっています。また「国際教育学」のゼミナールでは、ゼミ生がゼミや開発教育協会の研修を通して、理論と手法を修得した上で、実際に国際学院高等学校の高校生に開発教育の授業を実践して参りました。このような、地域と連携したアクティブ・ラーニングの取り組みが、今回の受賞につながったものと実感しています。今回の受賞を励みに、今後も地域とのつながりを大切に、新たな授業づくりに尽力していきたいです。



*開発教育と呼ばれる国際理解や国際協力をテーマとした教育活動や参加型学習の普及推進を行なっている教育NGO

2018年5月27日(日) 上智大学四谷キャンパスでのオール・ソフィアーズ・フェスティバル (ASF) にて開催しました、総会・19期生銀祝・土田宏先生の記念講演会などの内容を紹介します。

卒業生のためのミサ

総会に先立ち、11時からクルトゥールハイム聖堂にて、高祖敏明神父様(前上智学院理事長) 司式により、卒業生のためのミサを開催しました。



上智大学短期大学部ソフィア会 総会

2017年度の活動として、4期生ルビー祝・18期生銀祝式典及び祝賀会の実施、SJ祭への協賛、同窓会給付型奨学金授与、学位授与式においてジェラルド・バリー賞授与、寄付講座、同窓会室開室などを報告。(2017年度決算報告書は短大通信No.93(前号)に掲載されています。)2018年度の方針として、引き続き同様の事業を通して短期大学部と連携して会員の親睦・交流を深め、母校に対する支援を行うこと、19期生銀祝、5年後となる上智短期大学(現上智大学短期大学部) 創立50周年に向けての準備、卒業50周年を祝う金祝におむけての準備、などを提案。いずれも承認されました。

土田宏先生記念講演会

テーマ「現在のアメリカを理解するために」
(概略)

ケネディ大統領は夢を語るの少ない政治家であり、没後55年も経つのに写真集まで出ている特別な人である。1963年は亡くなった年であるが、その年4月くらいからケネディは真剣に「世界の平和」を考えて動き出していた。6月10日、アメリカン大学卒業式での演説で、「大学で4年間学び卒業するということは、その勉学のなかで偏見・先入観をなくして物事を考えるような人にならなければいけないはず。」と語り、当時冷戦状態にあったソ連・共産党も最初から悪と考えるのではなく、彼らを正しく理解して平和のために話し合いをして解決する努力をしよう、と呼び掛けた。ケネディ大統領の存在意義は大変大きなものがあつた。



19期生銀祝式典及び記念パーティー

19期生銀祝には14名のお申込みがありました。山本浩上智大学短期大学部学長よりそれぞれへ祝状授与とお祝いの言葉をいただきました。銀祝代表のご挨拶は、山口朋子さんにお願ひしました。



お知らせ

- 総会とホームカミング 2019年5月26日(日) 四谷キャンパスにて開催するASFに合わせて開催予定。
- 5期生ルビー祝・20期生銀祝は、2019年10月のSJ祭に合わせて秦野キャンパスにて開催予定。

銀祝に感謝して

19期生代表 山口朋子(Eクラス)

本日は、私たち19期生のために、卒業から25周年の銀祝を、このように温かくお祝いいただき、皆様へ心より感謝申し上げます。卒業当時、20歳そこそこだった私たちには、25年後の自分の姿は、とても想像が付きませんでした。ですが、250人の同期生とともに、それぞれの場所で、この日を迎えられることを、とても嬉しく思います。



本日、ここ四谷キャンパスに足を運べなかった友人たちも、いま、全国各地、世界各国で活躍しています。

こちらの会場にもご参加の友人は、現在、新卒で就職した会社で、いまや勤続25年のベテラン社員となり、日本の本社とヨーロッパ企業をつなぐ海外マーケティングの仕事で力を発揮しています。そして偶然にも、その会社のニューヨーク支社でローカル採用されて、現地で活躍中の19期生もいらっしゃるそうです。

また、私と同じく商社に就職した友人は、いまは、その語学力を活かして日本語教師をしています。

また別の友人は、3人の子育てをしながら、ご実家のコーヒー店で、現役の看板娘として人気者です。

他にも、ご主人の海外赴任などにもなつて、現在、ロンドンやカリフォルニア、シンガポールで、ご家族を支えている友人たちもいます。

私自身も、寿退職すると思つて就職した会社から転職して、航空会社や研修会社、大学の講師など、多くの業種、職種を経験してまいりました。また、出産後、仕事ができなかった時期に、四年制大学の3年次に編入して、4年半をかけて卒業しました。その後、自分の会社をおこして、いまに至ります。

みなそれぞれに、この25年間の経験を糧に、卒業後も成長し続けています。

そして、その私たちの成長のために、最初、社会に出るための種を植え、水や光を与えていただいたのが、上智短大での2年間であつたと、いま、あらためて感謝しています。

目の前に富士山を望む丘にある、緑が美しいキャパスで、綺麗な空気を胸いっぱい吸い込み、教職員の皆様や友人と近い距離で過ごした2年間は、とても貴重な時間でした。

当時、文字通り青春の真っ只中で、その先の進むべき道に迷う時もありました。あるとき私は、ミセス・クレマー(ヘレン・クレマー先生)に、当時悩んでいた進路について相談しました。急なお願ひであつたにもかかわらず、ミセス・クレマーは、授業の後、2時間ほどずっと、穏やかに私の話を聞いてくださいました。

ちょうどその日も、本日より、5月の新緑の輝く時期でした。涙をいっぱい溜めて話す私の目にも、キャンパスの芝生やその上に降り注ぐ光が、きらきらと眩しく映っていました。その光景を、いまでも、ミセス・クレマーの優しい言葉や表情とともに、よく覚えています。

また、本日、記念講演でご登壇くださった土田宏先生には、「時事英語研究」という科目を教わりました。その科目は、英語を習うのではなく、英字新聞などに出てくる最新の英語でのトピックを深く理解するための授業で、帰国子女ばかりの同級生に囲まれて、当時の私は、自分の英語力不足を痛感していました。

そんなあるとき、授業で、アメリカの化粧品会社のことがトピックに挙がりました。そのとき、土田先生が、その会社のことを知っている私に、「僕は化粧品の会社はよく知らないのだけど、どんな会社なの?」と聞いてくださいました。

そのことがとても嬉しくて、ささいなことでしたけれども、私は私なりに何か貢献できることがあるのかなと、自信を取り戻すきっかけになりました。

このたび、銀祝をむかえて、久しぶりに25年前の卒業アルバムを開きました。そこには、土田先生のお言葉がこのように記してありました。

春空に
飛び立つ若鳥
いま群れる
遠くはるかな
光目指して

四半世紀前に、それぞれに飛び立った私たちですが、またこのように学び舎に舞い降りて、大切な仲間と一緒に、幸せなひとときを過ごせることを、とてもありがたく思います。

また、ここに集えなかった方々、そして、天国の神様の元いらっしゃる先生方とも、これからもずっと、温かい絆で繋がっていられますように、願っております。そして、コリンズ先生のご体調が早く快復されますように、お祈りしております。

最後になりますが、本日、このような素晴らしい式典を開催、また、ご列席くださいましたソフィア会役員の皆様、先生方、そして、本日のためにお力添えくださいました皆様方に、心より御礼を申し上げます。

そして、すべての上智短大卒業生の皆様と、上智短大を支えてくださっている方々のご多幸をお祈り申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

全国私立短期大学体育大会に参加して

第53回全国私立短期大学体育大会が8月6日(月)から9日(木)の4日間にわたって行われた。本学からSJCテニスサークルとバレーボールサークルが出場した。両サークルとも熱戦を繰り広げたので、その思いをそれぞれヘッドに寄稿していただいた。

● SJCテニスサークル

河村 多恵

私たちSJCテニスサークルは、体育大会に参加するにあたり、私を含め2年生の多くは就職活動をしてきたため、思うように練習をすることができず心配していましたが、団体戦の部で3位に入賞することができました。昨年は団体戦で入賞することが出来ず、また、2019、2020年度は東京オリンピックのボランティア参加を学生に促すため、体育大会が休会とのことですので、今回の3位入賞はとてうれしく思います。今後もテニスの楽しさや仲間と一緒に活動する楽しさを多くの人に知ってもらえるよう、サークル活動を続けていきたいと思っています。



● バレーボールサークル

横井 あおば

私たちバレーボールサークルは、今年1年生が多く入部してきたので、この体育大会で決勝トーナメントに進み、結果を残すことを目標にして練習してきました。予選リーグでは2試合とも、練習していたクイックやコンビネーションの成果を発揮し、粘り強く試合をしました。しかし残念なことに予選リーグで勝利を飾ることができませんでした。

今回は結果を残せなかったものの、最後まで諦めずに試合をすることができたことは良かったと思います。来年は同大会が行われないので、代わりとなる大会を探し、これからも練習を続けていきますので、応援をよろしくをお願いします。



秦野たばこ祭に参加

恒例の秦野たばこ祭が今年も9月22日(土)および23日(日)の2日間にわたり開催された。本学と秦野市との提携による「まちづくりに関する活動」の一環として学生はこの祭りにボランティアとして参加している。今回オープンカーでのパレードに参加した2017年度ミスソフィア・ジュニアの2年生と一日女性警察官として参加した1年生のお二人に感想を寄稿していただいた。

● オープニングパレードを終えて

塚原 秘愛

私はこのたびミス東海大学の方と共に、ミスソフィア・ジュニアとしてオープニングパレードに参加させていただきました。オープンカーに乗り秦野の街を回りました。いろいろな方々から手を振っていただき、時には親しくお声をかけていただきました。また車から降りて直接市民の方々とお話しする機会もあり、とてもうれしく楽しい時を過ごしました。すてきな秦野の町を知るとともに、市民の方々のやさしさを感じました。このような素晴らしい体験ができたことを心より感謝しております。来年度のたばこ祭へ是非足をお運びいただければと思います。



● 一日女性警察官を終えて

磯辺 彩乃

私は5人の同級生とともに、一日女性警察官として交通安全・防犯を呼びかけるチラシをパレードで配りました。初めて警察官の制服に袖を通した時には気持ちが引き締まりました。チラシを配っているとお年寄りから小さな子どもまで快くチラシを受取ってください、また「ありがとう」、「暑い中お疲れ様」というお声がけをいただき、とてもうれしかったです。

このお祭りが警察や消防の方々、地域のボランティアの方々など、多くの人々の温かい気持ちで支えられていることを実感しました。秦野市民の一員としてたばこ祭に参加できたことを光栄に思っています。このような貴重な経験をすることができたことを感謝しています。



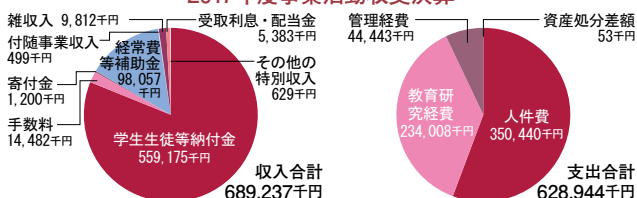
上智大学短期大学部 2017年度決算及び2018年度予算

(単位:千円)

科 目		2017年度決算	2018年度予算
教育活動収支	事業活動収入の部		
	学生生徒等納付金	559,175	573,331
	手数料	14,482	13,820
	寄付金	1,200	2,000
	経常費等補助金	98,057	81,119
	(国庫補助金)	(97,974)	(80,968)
	(地方公共団体補助金)	(83)	(151)
	付随事業収入	499	34,321
	雑収入	9,812	29,034
	教育活動収入計	683,225	733,625
	事業活動支出の部		
	人件費	350,440	359,234
	(退職給与引当金繰入額)	(△ 2,354)	(4,496)
	教育研究経費	234,008	160,533
(減価償却額)	(40,139)	(39,080)	
管理経費	44,443	75,824	
(減価償却額)	(4,699)	(3,738)	
教育活動支出計	628,891	595,591	
教育活動収支差額	54,334	138,034	
教育活動外収支	収事業活動の部		
	受取利息・配当金	5,383	5,381
	その他の教育活動外収入	0	0
	教育活動外収入計	5,383	5,381
	支事業活動の部		
借入金等利息	0	159	
その他の教育活動外支出	0	0	
教育活動外支出計	0	159	
教育活動外収支差額	5,383	5,222	
経常収支差額	59,717	143,256	
特別収支	収事業活動の部		
	資産売却差額	0	0
	その他の特別収入	629	0
	(施設設備寄付金)	(600)	0
	(現物寄付)	(29)	0
	特別収入計	629	0
支事業活動の部			
資産処分差額	53	0	
その他の特別支出	0	0	
特別支出計	53	0	
特別収支差額	576	0	
予備費		0	
基本金組入前当年度収支差額	60,293	143,256	
基本金組入額合計	0	△ 18,281	
当年度収支差額	60,293	124,975	

※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

2017年度事業活動収支決算



入試日程のご案内

上智大学短期大学部の教育は、キリスト教ヒューマンズムに基づいた教育の精神である「他者のために、他者とともに (Men and Women for Others, with Others)」を国際社会において実践することのできる英語発信力と国際性 (Global Competency) の涵養を目指しています。受験生の皆様には、本学での学びを進路の一つとしてご検討いただければ幸いです。2019年度入試より、一般入試C日程での選抜方法が、筆記試験1科目(外国語/英語)とグループ面接(ディスカッション形式、日本語)に変更となりました。短期大学部では入学志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定することを目指しています。詳しくは入試要項をご確認ください。

今後実施する入試制度は下記のとおりです。

大学案内・入学願書のご請求は、本学HPトップページのテレメールをご利用ください。

上智大学短期大学部HP



種 別	募集人数	出願期間	試験日
一般入試 A 日程	55	1月4日(金)～1月18日(金) (消印有効)	2月1日(金)
		1月21日(月)～1月24日(木) (短大窓口受付)	
一般入試 B 日程	25	1月31日(木)～2月15日(金) (消印有効)	2月22日(金)
		2月18日(月)～2月20日(水) (窓口受付) ^(注1)	
一般入試 C 日程	15	2月22日(金)～3月1日(金) (消印有効)	3月7日(木)
		3月4日(月)・3月5日(火) (窓口受付) ^(注1)	
第3期 A O	5	1月4日(金)～3月12日(火) a～fの出願期間があります ^(注2)	出願期間により異なります ^(注2)
適性検査型特別	3	1月28日(月)～3月1日(金) a～ウの出願期間があります ^(注2)	出願期間により異なります ^(注2)
TEAP・英検等 利用型 C 特別	5	1月4日(金)～3月12日(火) I～Ⅸの出願期間があります ^(注2)	出願期間により異なります ^(注2)
国際バカロレア(IB) 科目履修 C 特別	2	2月12日(火)～2月15日(金) (消印有効)	2月21日(木)

(注1) 一般入試B・C日程は、上智大学短期大学部(秦野キャンパス)と、上智大学入学センター(四谷キャンパス)の2ヶ所で窓口受付を行います。

(注2) 第3期AO入試(a～f)・適性検査型特別入試(A～ウ)・TEAP・英検等利用型C特別入試(I～Ⅸ)の日程の詳細は本学ホームページでご確認ください。